

1 総 括

1-1 業務の概要

近年の技術革新の進展や著しい技術の先端化に伴い、公設試験研究機関においては研究開発、技術指導の高度化が益々強く要請されている。このため地域産業の「技術的拠りどころ」としての機能を果たしていくためには、生産・加工システム、地域資源の高度利用、新素材・新材料、バイオ・食品、デザイン及び電子などの研究開発が不可欠であり、これらの研究開発を推進することによって、技術水準の高度化を促進し、地域資源や開発した技術の活用による新製品・新商品の開発を行い、新たな産業興しを図る必要がある。

業務の概要としては、県内中小企業を主対象とする技術相談・指導業務、依頼分析・試験業務及び工業技術に資する研究開発業務を主要業務とするほか、JOIS、PATOLISなど技術情報データベースのオンライン検索による情報提供、センター独自のシステムである全国工業系国公立試験研究機関の研究報告をデータベース化した研究報告サービスシステム「メビウス」による情報提供等、地域企業への情報提供業務の強化に努めている。また、インターネットのホームページを活用して積極的に情報発信を行っている。平成10年7月には地域企業の独創的な技術開発や成長分野への展開を円滑に推進し、産学官が自由に設備を利用できる開放型の支援施設「R&D支援センター」が開所した。

1-2 組織と業務

庶 務 部

- (1) 庶務一般に関すること。
- (2) 他部の所管に属しないこと。

企画情報部

- (1) 試験研究及び技術指導の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 工業技術に関する情報の調査研究及び提供に関すること。
- (3) 国、地方公共団体、大学、企業等との連絡調整に関すること。

デザイン・工芸部

- (1) 工業製品及び工芸品に関するデザインの開発研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 工芸品の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 工業製品及び工芸品に関し、依頼に応じて行うデザイン設計に関すること。

食品工業部

- (1) 食品工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 微生物の育種・開発及び食品工業的利用に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 食品に関し、依頼に応じて行う分析及び試験に関すること。

化 学 部

- (1) 化学工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 繊維及び染色に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 化学に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

素材開発部

- (1) 窯業及び金属工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 新素材及び複合材料の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 窯業及び金属に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

機械技術部

- (1) 機械工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 機械に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び検査測定に関すること。

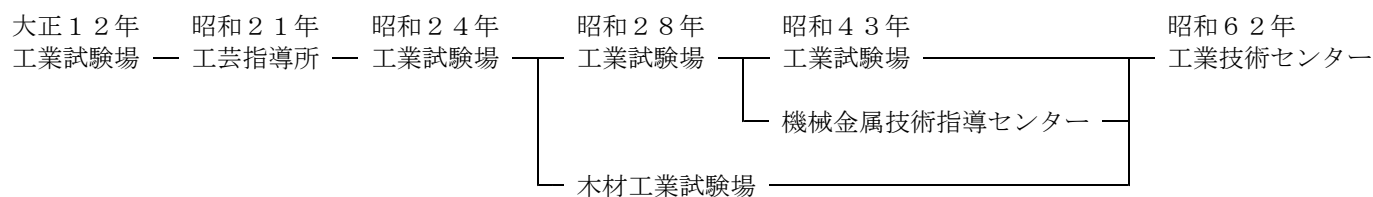
電 子 部

- (1) 電子技術に関する試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 情報処理技術及び通信技術の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (3) 電子機器に関し、依頼に応じて行う試験及び検査測定に関すること。

木材工業部

- (1) 木材工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 木材に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

1-3 沿革

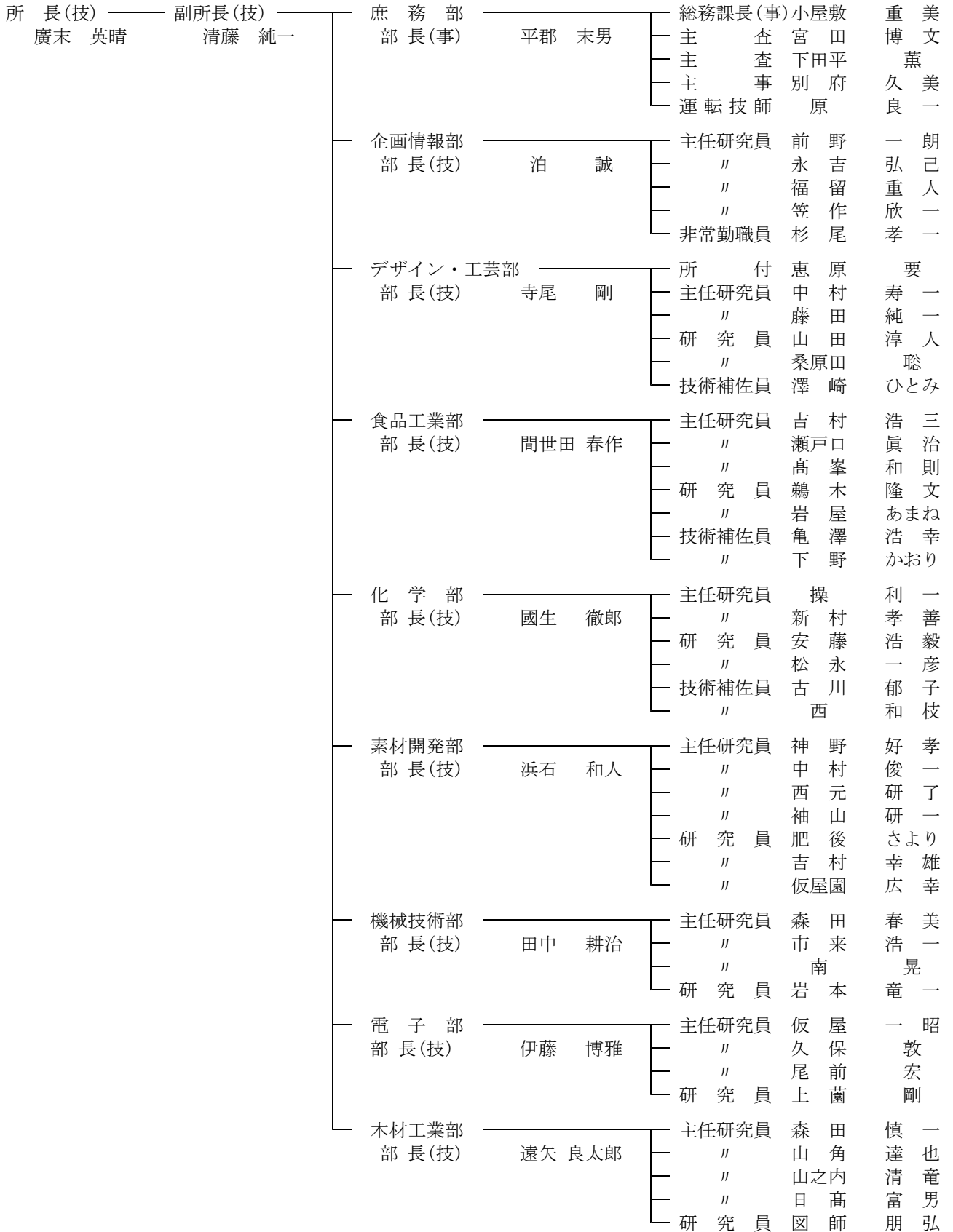


- 大正12年 4月 鹿児島市高麗町に工業試験場を設立し、染色、機織の2部を設置
- 昭和 4年 6月 鹿児島市原良町に移転
原料糸検査、醸造、玉糸製糸、撚糸、図案の各部を増設
- 昭和15年 4月 窯業部を増設
- 昭和17年 1月 木工、化学部を増設
- 昭和21年 4月 工業試験場に木工養成所を併設
- 昭和21年12月 工芸指導所と改称し、庶務、化学、窯業及び工芸振興の4部に改編
- 昭和23年 1月 竹工部を増設
- 昭和24年 4月 工業試験場と改称し、庶務、化学、及び工芸（木工、竹工、窯業）に改編
- 昭和26年 4月 発酵工業部を新設
- 昭和27年 4月 工芸部より木竹工部を分離・新設、揖宿市に揖宿分場を設置
- 昭和28年 4月 木竹工部と木工養成所を工業試験場より分離して木材工業試験場を設置
- 昭和34年11月 鹿児島市武町に移転
- 昭和38年 6月 揖宿分場を廃止
- 昭和39年 4月 工芸部を窯業部に改め、化学部に機械金属班を設置
- 昭和43年 2月 工業試験場の新庁舎竣工
- 昭和43年 8月 機械金属班を分離して鹿児島市宇宿町に機械金属技術指導センターを設立
- 昭和48年 3月 鹿児島市東開町に木材工業試験場を移転
- 昭和62年12月 工業試験場、機械金属技術指導センター及び木材工業試験場を再編・統合し、現住所に工業技術センターを設立、企画情報、デザイン開発、電子の2室1部を新設し、2室7部に改編
- 平成 8年 4月 組織改編により庶務、企画情報、デザイン・工芸、食品工業、化学、素材開発、機械技術、電子、木材工業の9部制発足
- 平成 9年 3月 鹿児島県知的所有権センター開所
- 平成 9年12月 鹿児島県システム技術開発センター開所
- 平成10年 7月 鹿児島県R&D支援センター開所

1-4 機 構

1-4-1 組織と職員配置

(平成11年3月31日現在)



1-4-2 職員現況表

(平成11年3月31日現在)

区 分	事務職	技術職	現業職	計	非常勤職員	備 考
庶務部	5	2	1	8		所長・副所長を含む
企画情報部		5		5	1	
デザイン工芸部		6	1	7		
食品工業部		6	2	8		
化学部		5	2	7		
素材開発部		8		8		
機械技術部		5		5		
電子部		5		5		
木材工業部		6		6		
計	5	48	6	59	1	

1-4-3 人事異動

(平成10年4月1日～平成11年3月31日)

発令年月日	氏 名	旧 任	新 任	備 考	
H10. 4. 1	脇元 康夫	副所長	大島紬技術指導センター館長	転 出	
	水元 弘二	企画情報部長	工業振興課		
	市山 周	総務課長	統計課		
	瀬戸口正和	機械技術部主任研究員	大島紬技術指導センター		
	岩下 照明	庶務部主査	高齢者対策課		
	宮内 孝昭	庶務部工業技師	工業振興課		
	矢崎 誠	素材開発部研究員	環境センター		
	清藤 純一	工業振興課参事	副所長		転 入
	平郡 末男	流通園芸課	庶務部長		
	中間 勝夫	県立病院課	総務課長		
	宮田 博文	林業試験場	庶務部主査		
	下田平 薫	国保援護課	庶務部主査		
	笠作 欣一	環境センター	企画情報部主任研究員		
	桑原田 聡	九州工業技術研究所	デザイン・工芸部研究員		
	鶴木 隆文	加世田保健所	食品工業部研究員		
	市来 浩一	大島紬技術指導センター主任研究員	機械技術部主任研究員		
泊 誠	機械技術部長	企画情報部長	所内異動		
田中 耕治	企画情報部主任研究員	機械技術部長			
仮屋園広幸	新規採用	素材開発部研究員	新規採用		
H10. 8. 1	中間 勝夫	総務課長	工業振興課	転 出	
	小屋敷重美	加治木土木事務所	総務課長	転 入	
H11. 3. 31	廣末 英晴	所長	通産省工業技術院	退 職	

1-5 規 模

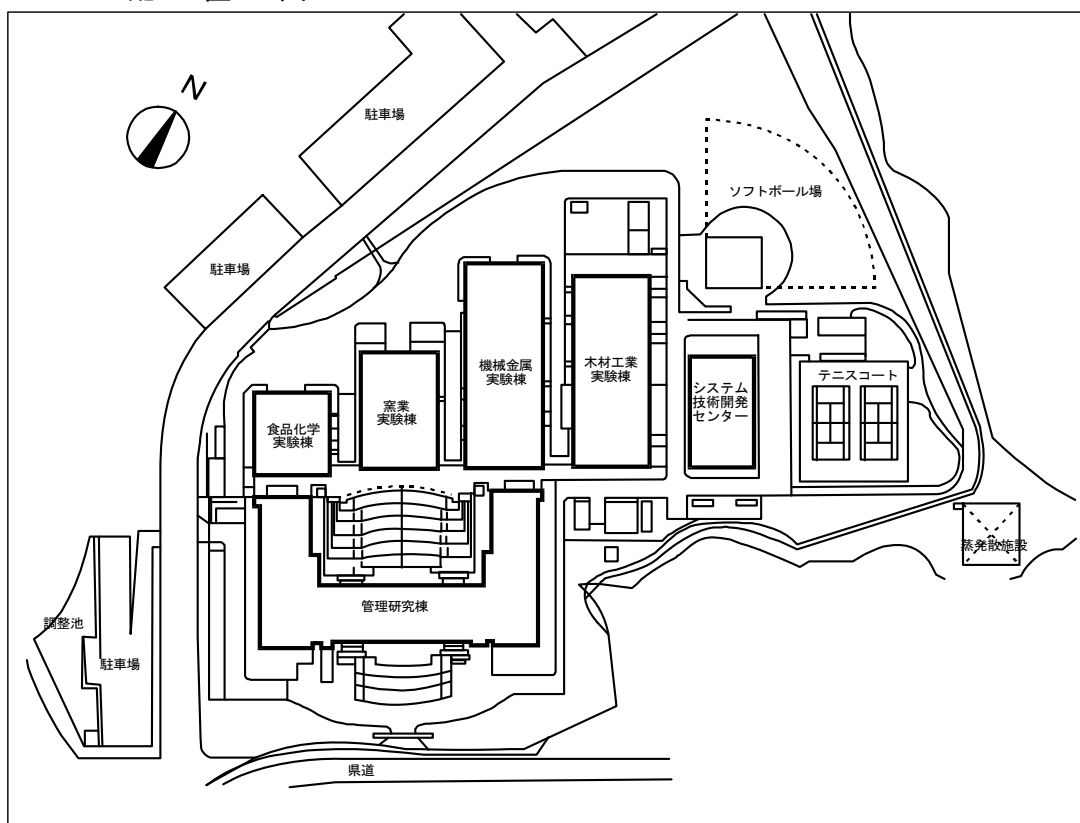
1-5-1 土地・建物

土地面積 69,157.16 m²

建物延べ面積 16,580.17 m²

区 分	面 積 (単位m ²)	内 訳			
		階別	面積 (単位m ²)	備 考	
管 理 研 究 棟 鉄筋コンクリート造 地下 1階 地上 3階	9,790.29	地階	911.49	機械室, 中央監視盤室 他	
		1階	2,884.14	庶務部, 企画情報部, 会議室 研究員室, ショールーム 知的所有権センター 他	
		2階	3,097.77	デザイン・工芸部, 化学部 食品工業部, 素材開発部 電子部, 電子計算機室	
		3階	2,540.82	デザイン・工芸部, 素材開発部 機械技術部, 木材工業部 化学部, R&D支援センター	
		棟屋	356.07	機械室	
実 験 棟 鉄骨造 平屋建	食品・化学実験棟	656.10	1階	656.10	食品工業部, 化学部
	窯業実験棟	951.35	1階	951.35	デザイン・工芸部, 素材開発部
	機械金属実験棟	1,640.25	1階	1,640.25	機械金属部
	木材工業実験棟	1,541.84	1階	1,541.84	木材工業部, 素材開発部 デザイン・工芸部
システム技術開発センター 木造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建	1,058.51	1階		1,058.51	産学官共同研究室 実験シミュレーション室 制御測定室, 試作研究室
そ の 他 付 属 棟	941.83			941.83	浄化槽機械室, 車庫 他

1-5-2 配 置 図



1-6 決算

1-6-1 歳入

(単位：円)

款	項	目	収 入 額	備 考
使用料及び手数料	使用料	商工使用料	1,189,618	
	手数料	商工手数料	6,126,269	
財産収入	財産売払収入	物品売払収入	3,150	
		生産物売払収入	443,000	
諸 収 入	県預金利子	県預金利子	10	
	受託事業収入	商工受託事業収入	256,223,349	
	雑 入	雑 入	20,028,310	
合 計			284,013,706	

1-6-2 歳出

(単位：円)

款	項	目	支 出 額	備 考
総 務 費	総務管理費	人事管理費	550,000	人事課
	企画費	技術情報管理費	100,000	新技術情報課
農 林 水 産 業 費	農業費	農業振興費	391,720	流通園芸課
	林業費	林業振興指導費	1,626,527	林業振興課
商 工 費	工 鉱 業 費	中小企業振興費	1,978,481	工業振興課, 中小企業課
		工業試験場費	756,134,984	工業振興課
教 育 費	社会教育費	社会教育総務費	208,594	工業振興課
合 計			760,990,306	(人件費を含まず)

1-6-3 補助事業等

補助事業等の区分	補助事業等の名称	事業名	事業費 (千円)	補助率	補助額 (千円)	交付決定 年月日	備考
国庫補助	地域活性化連携事業 地域産学官共同研究 (中小企業庁)	強誘電体インテリジェント 材料の開発	60,866	1/2	30,433	10. 6. 8	
〃	都道府県林業試験研究 地域重要新技術開発 (林野庁)	地域産材の低コスト乾燥技 術	1,364	1/2	682	10.8.26	
受 託	生活・社会基盤研究 地域先導研究(鹿児島 県新産業育成財団)	糖質資源からの有用糖類の 生産	5,500	1/1	5,500	10. 8.12	
〃	中小企業創造基盤技術 研究事業 (中小企業事業団)	微粒シラスバルーンを用い る高級軽量セラミック製品 の製造技術に関する研究	8,750	1/1	8,750	10. 9.10	
〃	ものづくり試作開発支 援センター整備事業 (中小企業事業団)	先端加工機を用いた地域加 工業界の生産技術力向上の ためのプロジェクト	247,473	1/1	247,473	10.10. 6	
〃	ベンチャー企業育成型 地域コンソーシアム研 究開発事業(新エネル ギー・産業技術総合開 発機構)	ハードディスク用配線付き サスペンションブランクス 開発プロジェクト	14,301	1/1	14,301	10. 9.25	
日自振補助	自転車等機械工業振興 補助金	工業技術センター機器整備 事 業	47,865	1/2	23,932	10. 5.14	
合 計			386,119		331,071		

1-7 会議等への参加（件数）

項目	部	庶務部	企画情報部	デザイン・工芸部	食品工業部	化学部	素材開発部	機械技術部	電子部	木材工業部	合計
試験研究機関連絡会議		7	3	6	10	7	7	10	4	4	58
学会		0	1	1	6	9	4	4	2	3	30
研究会・講習会		11	7	32	26	23	15	21	21	17	173
その他		87	43	37	27	13	2	12	9	21	251

1-8 設 備

平成10年度に設備した機器（重要物品）は、以下のとおりである。

部 名	機 器 名	型 式	メ ー カ ー 名	備 考
デザイン・工芸部	炭酸ガスレーザー加工機	WTS4112	澁谷工業(株)	受 託
	工芸部品専用CAD・CAMシステム	—	NECパーソナルシステム南九州(株)	受 託
	CAD・CGシステム	Octane SE	日本シログラフィックス(株)	賃 貸 借
食品工業部	機能性オリゴ糖分析装置	GULLIVER	日本分光(株)	国 補
化学部	比表面積測定装置	AUTOSORB-1	カンタクローム(株)	
素材開発部	電気物性測定装置	RT6000HVS	ラジアント・テクノロジー社	国 補
	高速・高精度記録計	GR2060-RFNSP	(株)チノー	国 補
	オージェ電子分析装置	JAMP-7810	日本電子(株)	
	高強度バルーン製造装置	H-1型	(株)西中製作所	受 託
	反応混練装置	W50EHT	BRABENDER社	
	微粒シラスバルーン混練機	NWC-101S	(有)第一宮崎鉄工	
機械技術部	脱脂炉	ETO-21CD-55S	光洋リンドバーグ(株)	日自振補
	溶射ガントラバース装置	IVA-XY	(株)西中製作所	日自振補
	超精密加工機	AHN60-3D	豊田工機(株)	受 託
	高精度三次元測定機	LEGEX707	(株)ミットヨ	受 託
	超精密表面あらさ測定機	ナノステップ2	ランク・テラー・ホブソン	受 託
	CAD/CAMシステム	U-GRAPH	セイコーインスツルメンツ	賃 貸 借
	フィールドエミッション走査電子顕微鏡	JSM-6330F	日本電子(株)	日自振補
	放射電磁界イミュニティシステム	MH-5000S	(株)松下インターテクノ	日自振補
電子部	インピーダンスアナライザー	HP4291B	日本ヒューレット・パッカド(株)	受 託
	熱分析装置	TMA/SS6100	セイコーインスツルメンツ	受 託
	PAACコーター	MS-ST-0505	(株)ムラカミ	受 託

- (注) 国 補 — 国の補助を受けて購入したもの
日自振補 — 日本自転車振興会の補助を受けて購入したもの
受 託 — 中小企業事業団などからの受託事業で購入したもの

